

# コスモ・スクーリングうすだ

## チャレンジ・マラソンへのご協力 ありがとうございます

開校二年目を迎えた本校で、5・6年生を対象に今年度初めてチャレンジ・マラソン（マラソン大会）を開催しました。子ども達の体力づくりに向けた意識を高めることが大きなねらいです。チャレンジ・マラソン前の期間には、「おうち de チャレンジ」と題して、家庭で楽しみながら運動することにも取り組みました。お子さんの様子はいかがだったでしょうか。学校では「運動場周回チャレンジ」に取り組み、「みんなで4533周」という目標を達成することができました。

チャレンジ・マラソン当日は、天候に恵まれ絶好のマラソン日和の中で子ども達のがんばりを見届けることができました。チャレンジ・マラソン最大の特長は、全長6.5kmのコースに設けた8つのチェックポイントの中から、子どもたち自身が自分の目標ゴールを選択することです。最長の6.5kmコースを選択した子もたくさんいましたし、自分の走りと相談しながら、もっと手前のコースを選択をした子もいました。

そして中には、自分が選択したゴールを通過してもなお、制限時間いっぱい走り通して、目標ゴールの更に先まで到達した子もいました。本校の子ども達のねばり強さと前向きな姿勢を感じました。

このチャレンジ・マラソンを開催できたのは、たくさんの保護者の方にボランティアとして参加していただいたお陰です。間近で子ども達の走る姿をご覧になったボランティアの方からも「感動した」というお声をたくさん頂戴しました。運営面では、不手際や想定外のこともありご迷惑をおかけした場面もありましたが、今年度の反省を次年度に生かしていきたいと思えます。

ボランティアの方の他にも、地域の方々が沿道に応援に駆けつけてくださったこともうれしく思います。大勢の方のお力によって、このチャレンジ・マラソンを本校の宝として育てていただけることを願っています。



元気に校庭をスタート



友だちと励まし合いながら



最終ゴールまでがんばった!

### 【チャレンジ・マラソンの主な感想や反省】

- 走る事が苦手だったけど、目標に向かって走っていたら走るのがとても楽しくなった。(児童より)
- 子どものがんばりを間近で見ることができた。ゴールが最終地点ではなく、一人一人の子どもに合わせた目標地点がゴールという考えがよかった。(ボランティアの方より)
- 多くの方にボランティアに参加していただき、この大会を開催できたことが本当にありがたかった。
- 「おうち de チャレンジ」「運動場周回チャレンジ」などの取り組みをとoshi、子ども達の運動の機会をふやすことができた。
- 今回はPTA役員の方にボランティアをお願いしたが、該当学年の保護者を対象にしたらどうか。
- 4年生以下の子どもの中に「ばくも走りたかった」という子が多くいた。対象学年を広げることも検討。
- 寒さ対策、給水対策など、来年度以降に向けて改善を図りたい点がある。



## 内津観空 書道作品展 を開催しました



子ども達に作品の説明をする観空先生

今年度2回目のコスモ・ギャラリー展として「内津観空 書道作品展」を開催しました。内津観空先生は本校開校の際に校名看板を揮毫していただいた田口在住の書道家です。

書道作品展開催中、観空先生には職員研修の講師をお務めいただき、私たち教職員に対して文字の歴史や興味深さについてお話をさせていただきました。また、休み時間にコスモ・ギャラリーを訪れた子ども達にも、一つ一つの作品について丁寧に説明してくださいました。

「子ども達の前で話をするのは本当に楽しい。真剣なまなざしで聞いてくれるのがうれしい。」

子ども達にお話をしてくださった観空先生は、そうおっしゃってしまし

た。来校の折、たまたま書き初めの練習をしていた学級の様子をご覧いただき、直接ご指導や手ほどきをしてくださったことも、子ども達にとってはうれしいできごとでした。

観空先生の書に対する熱意に触れ、今回の書道展が子ども達にとって、文字を読み書きの道具として身に付けるだけでなく、その成り立ちや形のおもしろさ、美しさに目を向けるよい機会になったと感じています。期間中、多くの保護者や地域の方に観空先生の作品をご鑑賞いただけたこともうれしく思っています。



書き初めのご指導もしていただきました

### 【これまでに開催したコスモ・ギャラリー展】

令和5年度 第1回「田島 健 木版画&収集ふるさと玩具展」R6.2月~3月

令和6年度 第1回「うすだスタードーム 星空写真展」R6.9~10月

第2回「内津観空 書道作品展」R6.11~12月

(予定)第3回「うすだの子ども絵画作品展」R7.1~2月

※統合前4小学校(白田小・田口小・切原小・青沼小)の時代に県入選した子どもの絵画作品を信濃教育会博物館からお借りし展示します。詳しくは後日配信される案内チラシをご覧ください。

## 校長室から

校長 井出 誠一

### 結果の重みを受け止める

二学期が終わろうとしている。二学期に子ども達が取り組んできたことの結果として、一人一人の成長につながったことがたくさんあったのではないだろうか。

「百聞は一見に如かず」という言葉をよく耳にする。たくさんのことを聞くよりも、実際に自分の目で見てみるのが大切だという教えである。実は、この言葉に続きがあることは、あまり知られていない。

『百聞は一見に如かず 百見は一考に如かず 百考は一行に如かず 百行は一果に如かず』  
と言うのだそう。

「たくさん聞くよりも、実際に見ることが大切。いろんなものを見るよりも、自分の頭で考えてみるのが重要。いくら考えても、行動を起こさなければ意味が無い。様々な行動を起こすことよりも、一つの結果こそが尊い」

こういった意味になるだろうか。

この二学期に子ども達はたくさんのことを見聞きし、考え、行動してきた。どれも貴重な経験である。そして、その結果として今の子ども達の姿がある。そう思うと、目の前の一人一人の姿がいとおしく、かけがえのないものに見えるのは私だけではないだろう。その重みをしっかりと受け止めたい。

子ども達の経験や学びは三学期につながっていく。更にたくさんのことを見聞きし、考え、行動し、そしてまた新たな子ども達の姿として結果に結びつくことを期待している。

